

ススメ! 修武館プロジェクト!!

70年のながい歴史を経て、平成23年4月1日公益財団法人として新たな一歩を踏み出しました。

武道が日常生活のなかで、もっともっと生かされますように、当館の持っているチカラを惜しみなく社会に発信しようと立ち上がった「修武館プロジェクト」

その名も「就学前武道教育の実践」です!

よちよち歩きのプロジェクトですが元気いっぱい育つように頑張ります。どうぞ、成長を見届けてください。ススメススメ!

- ススメ!修武館プロジェクト!!
はじめての第一歩 その1
- 先生も頑張っています!
- 平成25年 演武始式(えんぶはじめしき)
- プロジェクト2年目突入しました!
- あと50年頑張れば?
- 初めての暑中稽古
- 10月になりました
- 憧れの防具
- 幼稚園組第1期生&第1.5期生大集合!

『ススめ!修武館プロジェクト!! はじめの第一歩 その1』

修武館プロジェクト「就学前武道教育の実践」



たくさん子ども達に早く道場に来てもらいたい…そんなハヤる気持ちを抑えながら、幼年部の子ども達に協力してもらってのアンケート調査です。



幼年部は、事業の対象としている幼稚園から小学校低学年が稽古に励んでる時間帯なので、みんなの感想はとても参考になります。(いろんなことを質問したいところですが…)子ども達にたくさん質問するのは難しいと思い、よりすぐりの3問に絞りました。

これらの質問に答えてもらうために、普段は竹刀を使って素振りをするところ、木刀に変えてもらいました。

このアンケート調査の大きな目的のひとつに、「木刀を使うことへの安全性の確認」があります。

本来、形は、2人ひと組で向き合って行うものですが、それはあまりにも危険ではないかと言うことで、全員前を向いて振ってもらうことになりました。木刀も幼年用の短くて軽い特注の木刀を使っています。

このプログラムの大きな目的のひとつに、「木刀による剣道基本技稽古法」を幼年部に取り入れ、竹刀を刀として見立てることで効果的に稽古ができるかの検証がありました。兵頭先生のコメントから推測すると、むずかしそうです…。(チャンバラなら振り回しますよね。)

事務局(溝口)

まずは、真剣の代りに木刀や竹刀があるということ子ども達に実感してもらうことが狙いです。修武館には居合道部もありますので、居合道の先生に子ども達の前で演武をしてもらうと、刀の扱い方や名称、理合(りあい)などに興味を持って学べると思います。もちろん、まだ、交渉していませんが。

アンケート調査の結果です(延人数46名)

- Q1 竹刀と木刀はどちらがよかった?
竹刀16名 木刀30名
- Q2 Q1で木刀を選んだ理由は何ですか?
持ちやすかった。
木刀のほうに、かっこよさを感じた。
- Q3 次は、どちらを使いたいかな?
竹刀14名 木刀32名

竹刀の方がよかったけど、また木刀を使いたいと思った子ども達が2名いました。

もしかしたら、今回使ってもらったのは少し重たい木刀だったことと、写真撮影のために、かなりハードに素振りしてもらったのできつとお疲れだったのですね。

幼年部のみなさん、ありがとう。

まず、何をしても一番に検証しなければいけないことは、安全性です。今回のアンケート調査の結果や、子ども達の日々の行動を見据えながら、木刀を安全に扱える環境作りをこころがけていきます。

子ども達に木刀を使わすことは、一番に安全性を考えながら指導していくことが大変でしたが、やはり、子供だなあと感じました。日本人にとって刀(チャンバラ)は、いつの時代も憧れなのです。(木刀がかっこいい!)

兵頭先生

『先生も頑張っています!』

子ども達に協力してもらったアンケート結果を参考に、幼稚園児に、木刀を使って素振りをしてもらっています。

木刀を使うと、握りもしっかり、刃筋正しく振れることが期待されます。効果的な稽古法であることは、間違いありません。ですが、いつもワクワク、冒険心いっぱいの彼らに、平常心という言葉は、あまりにも難しく理解できないようです。

一番心配しているのは、いきなり木刀をブンブン振り回さないか?ということです。

誰でもながいものを持つと振りたくなります。

じゃあ、いっそのこと打ち込み台などで疲れるくらい打たせておいて欲求を解消させてから素振りをさせるとか、打ち込み台を打った時の手ごたえを実感させて、どうしてまわりに気を付けないといけないのかを理解させるとか、彼らの年齢に相応しい方法を模索中です。

いつも修武館は、安全性の確保を第一に考えています。当然の責務ですが、その為、子ども達に、あれはダメ、これはダメと言うことが多くなってしまいます。

木刀を使つての稽古は、剣道の理合(りあい)を深く学べるだけではなく、自分で、安全性を判断する訓練のチャンスも与えてくれるようです。

このころ、まだ子供じゃないかと思えるくらいの若い人たちによる悲惨な事件が多く発生しています。剣道は、どちらかが勝ち、どちらかが負けです。(競技試合では、引き分けもあります)勝負する時は、真剣勝負、精一杯戦って自分が勝ったとしても相手を敬う心は自然に生まれるものです。竹刀も使い方によっては、凶器になりかねません。剣道をとおして、道具も使い方で相手を傷つけ危険なものと教えることができそうです。

木刀で正しい刃筋を覚えさせ、刀の大事さを教え、使い方ひとつで相手を傷つける危険なものであることを教える。



事務局(溝口)



兵頭先生

《道場に入りにする時の挨拶のしかた》

座礼



『平成25年 演武始式(えんぶはじめしき)』



2013年1月14日(月・祝)演武始式をもちまして、修武館の新年が明けました。

あいにくの雨でしたが、道場は、活気に満ちあふれ、武道の素晴らしさをあらためて再認識した一日でもありました。



藤原保幸伊丹市長様から、ご祝辞を頂きました。館員の武道振興活動に対するねぎらいのお言葉を、また、「武道」に対する期待とその思いをお話していただきました。

さて、演武です。子ども達は、ちょっと緊張しながらも、いつもより誇らしげな顔をしています。注目されるとやる気まんまんオーラ。全開です。



さてさて、いよいよ当プロジェクト看板メンバーズの登場です。お休みの子ども達がいたので、ちょっとさみしい入場行進になりました。



なんだかカルガモの行進みたいで、お客様に笑顔が広がります。

大きな声で「礼」をしたあと、少年部の先輩達と同じように基本演武を披露しました。演武もクライマックスに。あれ?お手本の先生より前で…向こう側の幼年部ベテランおふたりさんは、どんどん前に出てしまい、ついに先生より前で演武することになります。



子ども達の無邪気な笑顔は、それだけですべての人をシアワセにしてくれます。そんな子ども達が、大きな声できちんとあいさつできたり、ピシッと背筋を伸ばしたり、人を尊敬し、目標に向かって精進するところを育むことができるのが「武道」です。

修武館には、少年部からお稽古をはじめ、いまでは、80歳をこえた先生がいらっしゃいます。今でも修行中だそうですね。まだまだ先はながいのです。あせらず、がんばりましょうね。

剣道の発表会といえば試合を連想しますが、修武館には「演武始式」があり、子ども達が輝ける場もあります。たくさんのお客様の前で演武できることは、子ども達にとっても大きな励みになっているようです。



事務局(溝口)

少年部、幼年部のみんなもたくさんのお客様で大緊張しています。実は、一番緊張していたのは、私でした?



兵頭先生

『プロジェクト2年目突入しました!』

「就学前武道教育の実践」というテーマで進めてきました剣道幼年部(対象は、幼稚園年少～小学生低学年)。面を自分でしっかりつけることができるようになる頃、幼年部は卒業です。

当初、10名程度の幼年部でしたが今では年間平均20名程度の子も達が稽古に励むようになりました。



幼年部の中でも2つのクラスに分かれています。幼稚園児対象のこのクラスは、剣道をずっと続けていけるための「こころ」をしっかり和育んでもらうことが指導における一番の目的です。



さあ! 幼年部で「こころ」の基礎づくり、がんばりましょう! 少年部では、もっともっと剣道が好きになる方法を先生が教えてくれますよ。早く上がれるように頑張りましょう。

保護者のみなさま、修武館青年部のみなさま、今年もご協力お願い致します(^^)

1年目より2年目、子ども達の人数も増え、内容も充実してきました。最初の頃は、試行錯誤しながらやっていたのを思い出しました。現在もですが!



兵頭先生

同感です!

事業を進めるごとに問題点が出てきます。その都度対処してきました。赤ちゃんを連れてこられる保護者も多く、「チャイルドルーム」を設置しました。



事務局(清口)



『あと50年頑張れば?』

ビックニュースです!!

幼稚園組の兵頭先生(今年で60歳)が、兵庫県民大会(55歳以上60歳未満の部)で優勝されました!



いつもは、怒鳴ってばかり(?)の先生ですが、でっかいのは声だけではないんですよ。子ども達に悪戦苦闘、足腰マッサージに忙しい毎日の先生ですが…まだまだ、子ども達と頑張れそうです。

幼稚園組のみんなが先生の年齢になるまで、あと50年以上…あせらず、ゆっくり続けましょう。きっと、剣道は、人生のなかでなくてはならないものになっていますよ。



私にも経験がありますが、親はとにかく結果が早く見たいものです。焦らなくてもあと50年以上お稽古できるって考えたら…。



事務局長(漢口)

お粗末!!



兵頭先生



『初めての暑中稽古』

本当に毎日暑い日が続きます。暑さに負けず、元気いっぱいなちびっ子達。いつもはのんびり(?)おだやかあ～なお稽古に汗を流している幼年部。

しかし、この3日間は違いました。初めての暑中稽古です。まずは、いつもとおり先生に説明を受けます。



いつもは、素振りだけ幼年部の面つけ組(小学校低学年)と合同で行っていますが、暑中稽古は、高学年の少年部も合同です。



…幼稚園組のみんなには、大変過酷な3日間でした。

面打ちの激しい音、大きな声にみんなびっくり。お兄ちゃん、お姉ちゃん達の後ろに頑張って並びましたが、ちっちゃいみんなには、順番が回ってくるまで何も見えません(ドキドキ…)。

初めて受けていただく先生もたくさんおられます。いつもと違うムードのお稽古に、みんなグダグダでした。

でも、早起きして朝からたくさん汗をかきましたね。とてもつらい暑中稽古だったと思いますが、ほんとうによく頑張ってくれました。



最終日、早めに稽古を切り上げて、みんなでスイカを食べました。みんな美味しそうに食べてくれて、ありがとう。

来年は背も伸びてきつと前もよく見えるから、先生にかかる前のこころの準備ができるはず。後ろで並んでいるだろう、おチビちゃん達を励ましてあげてくださいね。

保護者のみなさま、早朝よりご協力本当にありがとうございました。今後とも、よろしくお願ひ致します。

一番美味しそうなスイカを買って、大きな冷蔵庫でしっかり冷やして、食べやすいような大きさに切り分けて…。みんなが美味しそうに食べてくれるのを見ると、来年はもっと甘いスイカを探そうと思います。



事務局(溝口)

暑中稽古、寒稽古…。子ども達の成長を感じる時です。私もまだまだ負けられません。



兵頭先生

『10月になりました』

この事業を立ち上げてから、はや1年半が経ちます。数人から始まったこの事業も常時20名近くの子も達が集まるようになりました。



集まってくれたのは、子ども達だけではありません。そのむかし、ちびっ子剣士だったおかあさん、つい最近まで剣士だったおかあさん、もちろん、初めて竹刀を握るおかあさんもぞくぞくと…「大人の剣道教室」で子ども達に負けじと頑張っていますよ。

さて、あと半年間で、ぐーんとところもからだも大きく成長できますように。おかあさん達に負けちゃうぞ。

お母さんも剣道をしていると、共通の話題ができて会話が増えるようです。お父さんも剣道をしている家庭では、家族旅行が「剣道の合宿」っていうのもあるみたいですよ。



事務局(溝口)

「大人の剣道教室」も人数が増え、指導者の先生方も多数参加いただけるようになりました。子ども共々お母さん方も頑張ってください。



兵頭先生



『憧れの防具…』

ちょっとご無沙汰しているあいだに、子ども達はぐっと成長しました。幼稚園組さんは、しっかり基本を繰り返してお稽古していますが、一年生で、基本をしっかりと稽古してきた先輩達は、いよいよ防具をつけます。



どうです？小手をつけての素振りもなかなか決まっているでしょう。体の小さなみんなは、へとへとになりながら素振りをしてるでしょうが、毎日からだがちよつとずつ大きくなる分、竹刀も軽く感じるようになりますよ。ただし…ちっちゃな先輩達は、面タオルを付けるのには悪戦苦闘。

防具の着用が許可される前に、おうちで面タオルを付ける練習をしておくとも良いかもね。それとも、防具着用許可が出た時のお楽しみにしておくかな。

防具の着用許可が出ると、子ども達のテンションは一気に上がります！修武館では、どんなに基本がしっかりできていても、幼稚園児には防具着用許可は出しません。体格がよい子どもでも体に対する負担が大きいと判断しています。また、防具をつけると自分の足元の確認も満足にできないでしょう。



事務局(溝口)

子ども達の成長を一番感じる時です。何事も精一杯頑張っています。

防具を着用すると立派な剣士に見えますが、まだ紐を結んだり、面タオルを付けたりに悪戦苦闘しています。



兵頭先生



『幼稚園組第1期生&第1.5期生大集合!』

今年度もあとわずか…年長さんは、小学校入学です! おめでとう! さて、ホームページにもアップしましたが、先日大先輩たちが道場に集まってくれました。



修武館では、たくさんの幼稚園組のみんながお稽古してくれていますが、ころもからだも、まだまだ「初心者マーク」。じーっと見つめても…輝くばかりの純粋なベルにつつまれたそのころのなかには、なかなか届くことができません。ならば、昔の(?)幼稚園児に聞いてみよう。と、単純な発想から始まった企画でした。



磯崎先生の隣の美女(?)2人は、10年前には先生の横でふにゃふにゃ言っていたのに、すっかりお姉さんになりました。

集合写真の兵頭先生を見ていると、第2の磯崎先生になる日も近そうですね。



10年間って長いようで、あっという間です。これから、頑張る気持ちが大きくなったり、小さくなったりそんな繰り返しの10年かも知れません。

けれど、必ずみんな大きくなります。剣道でころとからだを鍛え、10年後、先生を囲んでみんなで楽しい集合写真を撮りましょうね。

中学校になると部活に入る人も多くなり、道場に通うことが難しくなります。あるいは、一度剣道から遠ざかってしまうかも知れません。剣道は、生涯続けることができます。幼年部のみんなが兵頭先生の年齢になるまであと50年…。剣道をとおして、50年来の友達がたくさんできますように、みんなで励まし合って稽古を続けましょうね。もちろん疲れた時はひと休み。小さい頃にしっかり稽古できていると、何年たっても体が思い出してくれるそうですよ。

事務局(溝口)

子どもの成長と私の年を感じました。

兵頭先生

